

平成25年第2回 臨時会

10月30日開催

平成25年10月の議員(議長職)欠員により、10月27日の議員補欠選挙で当選した荒牧弘敏議員が加わり、議員12名がそろった中での「議長選挙」など、議会構成にかかる案件並びに町からの提出議案1件の審議を行うための臨時会を開催した。

◎選挙関係

議長選挙	大山 晃 議員(投票)(前副議長)
副議長選挙	増矢 年克 議員(指名推薦)
京築広域市町村圏事務組合議会議員の選挙	大山 晃 議員(指名推薦)
吉富町外1町環境衛生事務組合議会議員の選挙	増矢 年克 議員(指名推薦)
豊前市外二町清掃施設組合議会議員の選挙	増矢 年克 議員(指名推薦)
豊前市外二町財産組合議会議員の選挙	大山 晃 議員(指名推薦)
京築地区水道企業団議会議員の選挙	安元 慶彦 議員(指名推薦)



新任の荒牧弘敏議員

◎その他委員会委員の選任について

総務産業建設常任委員会	荒牧弘敏議員の選任
広報特別委員会	大山晃委員の辞任及び荒牧弘敏議員の選任

専決処分の承認(一般会計補正予算【第6号】)

補正額 90万円 (補正後の総額 47億2899万円)

主な内容 上毛町議会議員補欠選挙執行のための経費

採決 **可決** (11:0)

平成25年第3回 臨時会

11月25日開催

第3回臨時会は、新町長就任後の初めての議会のため、町長の所信表明を受け、議長発議の選挙1件の執行、町提出の同意案3件及び承認案1件の4議案を審議した。

◎選挙関係

上毛町選挙管理委員会委員(4名)及び補充員(4名)の選挙(指名推薦)

- 委員 小林 正文(再任)、松本 達己(再任)、川島 学(新任)、出口 義昭(新任)
 - 補充員 穴田 正勝(再任)、村上 修市(新任)、秀南 京一(新任)、宮崎 まち子(新任)
- ※補充員は掲載の順位により委員欠員の際に補充されます。

提案理由 委員全員が任期満了のため(任期4年)

◎同意

上毛町監査委員の選任

- 委員 松本 正則(再任)

提案理由 委員2名のうち、1名の委員が任期満了のため(任期4年)

同意 **可決** (11:0)

上毛町教育委員会委員の任命

- 委員 百留 隆男(再任)、武井 一彦(新任)

提案理由 委員5名のうち、2名の委員が任期満了のため(任期4年)

同意 **可決** (11:0)

上毛町公平委員会委員の選任

- 委員 村上 紀子(再任)、石橋 佳佳(再任)、西 康雄(新任)

提案理由 委員全員が任期満了のため(任期4年)

同意 **可決** (11:0)

専決処分の承認(一般会計補正予算【第7号】)

補正額 700万円 (補正後の総額 47億3599万円)

主な内容 法人町民税確定申告に伴う法人税割額の還付の発生による関係経費

採決 **可決** (11:0)

(意見書案 提出議員 宮崎議員) 賛成者:増矢議員、三田議員、宮本議員

容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書

採決 **可決** (10:1)

反対:茂呂議員

発議

反対討論 茂呂議員

この意見書案は、レジ袋の使用量を減らすために、住民の理解を十分得て、住民の協力でレジ袋の使用量を減じていくという立場ではなく、有料化を法制化して、住民に負担を押しつけることにより、使用量を減じる考えであるので反対である。

賛成討論 宮本議員

戦後の日本では、消費が美德で、大量生産大量消費が国の経済成長をうながした時代も現実にはあったものの、経済は低成長・マイナス成長にすみ、限られた資源を有効に使い、再利用することにより、国家財政の下支えをすることは国民の使命であり、節約は美德であるという時代になった。現在5割強の主婦が買い物でマイバックを持参しており、過剰包装や資源の無駄遣いを認知し、節約に協力しようとする動きがみられることは幸いである。このような観点から私はあらゆるものの節約と再利用をうながすこの意見書案に賛成する。

容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書(案)

容器包装リサイクル法(「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」)は、リサイクルのための分別収集・選別保管を税負担で行うことになっているため、上位法である循環型社会形成推進基本法の3Rの優先順位に反して、リサイクル優先に偏っています。

このため、家庭から出されるごみ総排出量の減量は不十分で、環境によりリユース容器が激減し、リサイクルに適さない容器包装が使われているのが実態です。

根本的な問題は、自治体が税負担で容器包装を分別収集しているため、リサイクルに必要な総費用のうち約8割が製品価格に内部化されていないことにあります。このため、容器包装を選択する事業者には、真剣に発生抑制や環境配慮設計に取組もうとするインセンティブ(誘因)が働かず、ごみを減らそうと努力している市民には、負担のあり方について不公平感が高まっています。

今日、気候変動防止の観点からも、資源の無駄遣いによる環境負荷を減らすことは急務であり、デポジット制度の導入をはじめとした事業者責任の強化が不可欠となっています。

よって、上毛町議会は、我が国の一日も早い持続可能な社会への転換を図るため、政府及び国に対し、以下のとおり、容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律を制定することを強く求めます。

記

1. 容器包装の拡大生産者責任を強化し、リサイクルの社会的コストを低減するため、分別収集・選別保管の費用について製品価格への内部化を進めること。
2. レジ袋使用量を大幅に削減するため、有料化などの法制化について検討を進めること。
3. 2Rの環境教育を強化し、リユースを普及するため、学校牛乳のびん化が促進されるように、様々な環境を整備すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

2013年12月10日

上毛町議会議長 大山 晃

(提出先)

衆議院議長	伊吹 文明 様	農林水産大臣	林 芳正 様
参議院議長	山崎 正昭 様	厚生労働大臣	田村 憲久 様
内閣総理大臣	安倍 晋三 様	財務大臣	麻生 太郎 様
環境大臣	石原 伸晃 様	消費者庁担当大臣	森 まさこ 様
経済産業大臣	茂木 敏充 様		

